

実験系廃液の収集区分

1. 無機系廃液

種 類	成 分	摘 要	色
シアン含有廃液	シアン化物・シアン錯化合物	a. 酸性廃液は直ちにアルカリ性にし、酸性廃液に混入しない。 b. 難分解性シアン錯塩（黄血塩・赤血塩など）はあらかじめ分解してシアン化物に変えるか、難溶性沈殿として除しておく。 c. シアンヒドリン，イソアルキルシアネートなどは分別する。ニトリル，その他有機シアン化合物は含めない。 d. シアン酸，チオシアン酸塩も含める。 e. 重金属含有廃液はシアン分解後その他の重金属含有廃液に含める。	青色
六価クロム含有廃液	六価クロム化合物	a. 重クロム酸塩－硫酸混液を含める。 b. 六価クロム還元後はその他の重金属含有廃液に含める。	赤色
水銀含有廃液	無機水銀，アルキル水銀等有機水銀化合物	a. 金属水銀は除く。 b. アルキル水銀等有機水銀が含まれる場合には，次亜塩素酸ナトリウムなどを加えて酸化し，無機水銀に変えておく。 c. 無機水銀化合物に限って，硫化物沈澱法により処理するときはその他の重金属含有廃液と一緒にしてよい。	白色
その他の重金属含有廃液	カドミウム，鉛，ひ素，銅，鉄，マンガン，亜鉛，コバルト，ニッケル，クロム，銀，スズ，アンチモン，モリブデン，タングステン，セレン，ベリリウム，バナジウム，チタン，ビスマス，ジルコニウム，ランタン，バリウム等	a. 金属又は金属化合物及びそれらの混合物を含む廃液 b. 有機物を多量に含むもの及び錯イオン，キレート生成物質を含むもの，あるいはそれらの金属化合物を含むものはあらかじめ分解しておく。	黄色

2. 有機系廃液

I. 廃溶媒

自燃性を有する有機化合物廃液（可燃性廃液）で、一般有機溶媒、含窒素有機系廃液、含硫黄有機系廃液等を指す。

廃液の種類	成 分	色
一般有機溶媒	炭化水素類，アルコール類，エステル類，ケトン類，アルデヒド類，弱酸類（酢酸など）	灰
含窒素有機系廃液	ピリジン，アニリン，アミン，アミド類，ピコリン，ホルムアミド，ニトリル類など	
含硫黄有機系廃液	メルカプタン，アルキルスルファイド，チオ尿酸，ABS，硫黄環式化合物など	色

II. 廃油類

石油系廃液，動植物油脂類等で I と同様，可燃性廃液として取り扱う。

廃液の種類	成 分	色
石油系廃油	灯油，重油，機械油，潤滑油，切削油など	灰 色
動植物油脂類	動植物油脂，液体脂肪酸など	

III. 難燃性・不燃性溶媒

自燃性を持たない含ハロゲン有機系廃液などを指す。

廃液の種類	成 分	色
含ハロゲン有機系廃液	四塩化炭素，クロロホルム，クロロエチレン類，クロロベンゼン類など	灰 色

IV. 含水有機系廃液

有機化合物の水溶液，水を多量に含む有機溶媒及び廃油類をいう。

廃液の種類	成 分	色
含水有機系廃液	水を含む有機酸，アルコール，フェノール，アミン等の廃液，アルデヒド等の廃液（ホルマリン廃液），それらの希薄水溶液など	灰 色